

目次
CONTENTS

- 2 まちかどウォッチング
- 4 特集
対馬ぐらしで見つめる未来
〈移住・定住×女子会〉
- 8 広報写真で振り返る2019年
- 10 みんなの広場
市役所インフォメーション
○対馬市長選挙・対馬市議会議員補欠選挙
○幼稚園・こども園・保育所(園)・へき地保育所の入園児募集 他
17 わがまち再発見 対馬歴史人物伝-
原田三郎右衛門
あんにょん!韓国語
年末の予定に関する韓国語
- 18 島おこし協働隊活動レポート
松葉遙花 隊員
たすけあい通信
美津島町竹敷地区の活動
- 19 図書Navi
新刊情報
混乗便(比田勝⇄博多)時刻表 ほか
- 20 年金コーナー
年金相談・お手続きの際は、ぜひご予約を!
対馬市消費生活相談所だより
消費生活相談所ってどんなところ?
- 21 情報BOX
- 23 対馬市福岡事務所レポート
つし
今月の対馬応援隊「伊藤翼」さん
学校給食からこんにちは!!番外編
私のオリジナルたまご焼きコンテスト
最優秀賞のレシピ紹介
- 24 数字で見る対馬市・おこやみ・市長の動き
- 25 特別診療案内

まちかどウォッチング

11/17

食害から食“財”に! 食べる磯焼け対策でグランプリを受賞



受賞報告に来庁された犬東徳弘さん、ゆかりさんと鴨居瀬地区藻場保全組織代表の築城茂徳さん(写真左)

水 産加工業「丸徳水産」を営む犬東さんご夫婦が東京で開催された第7回Fish-1グランプリのファストフィッシュ商品コンテスト(国産魚をおいしく手軽に食べられる商品)で、県内初となるグランプリを受賞しました。全国から30団体(51商品)がエントリーしたコンテストに「食べる磯焼け対策!!そう介のメンチカツ」と題した、磯焼けの原因の一つとされている食害魚のイスズミを使ったメンチカツを出品し、うま味がつまったジューシーな味わいで最高評価を獲得しました。お二人は「磯焼けの原因とされるイスズミを駆除される魚ではなく、新たな水産資源になるよう今後も頑張っていきます」と受賞の喜びを笑顔で語ってくれました。

11/24

惜しまれながら 29年の歴史に幕



伝 伝統文化を後世に伝える第29回対馬島郷土芸能発表大会が対馬市公会堂で開催されました。指導者・後継者不足などにより盆踊りが減少し、継続することが難しいことから、今年で最後となりましたが、大会には、市内各地区に伝わる盆踊りや民謡、正調しんき節など、多くの方々が出演し、盛り上がりを見せました。最後は、永留堯吉会長を唄い手に、今は見ることがなくなった古き懐かしい「地搦き」を盛大に行い、惜しまれながら29年の歴史に幕を降ろしました。



この社会 あなたの 税がいきている 11/9



税 金クイズ（主催：対馬法人会女性部会）が対馬市交流センターで行われました。同時開催で「税に関する絵はがきコンクール」と「税に関する作文コンクール」の表彰式も行われ、税を考える一日となりました。

「コウノトリ」が対馬に飛来 11/12



写真提供：一般社団法人MIT 吉野 元氏

絶 滅が危惧されている「コウノトリ」が、上対馬町舟志に3羽飛来しました。足環から、福井県板井市で生まれ育ち、巣立っていった4羽の内の3羽と判明し、多くの愛鳥家の方々がカメラ片手に訪れました。

赤米を未来に伝えるために 今できること 11/20



赤 米サミット2019in対馬・豆酏が豆酏小学校体育館で開催されました。岡山県総社市、鹿児島県南種子町、対馬市がそれぞれ赤米行事の保存に向けた活動を報告した後、豆酏小学校5・6年生による学習発表が行われました。

地元被災者のために 11/10



島居佐護区長（写真左）に見舞金を手渡す
支援の会 発起人代表の阿比留さん

台 風17号に伴う記録的な大雨で被災された上県町の方々を支援するため、地元事業者で構成される上県地区災害支援の会が発足しました。この活動に賛同した上県町内29の事業所から総額138万円の見舞金が集まり、被災された51世帯におくられました。

豊かで活力ある対馬を 創るために 11/17



SDGsとは

エ ネルギーシフトでつかむ地域の自立のチャンスと題して、木質バイオマス利用促進シンポジウムを対馬グランドホテルで開催しました。エネルギーの地産地消や脱炭素化などの講演や事例発表を行い、キーワードとなったSDGs（持続可能な開発目標）を考える機会になりました。

初めまして「かなた」です 11/22



4歳・雄（4月13日・福岡市動物園生まれ）性格：好奇心旺盛
写真提供：環境省対馬野生生物保護センター

対 馬野生生物保護センターの4代目公開ツシマヤマネコの名前が「かなた」に決定しました。応募総数307件の中から、古代山城の金田城と福岡という彼方から来たことにちなんで命名されました。また、海のかなたからも会いに来てくれますようにとの願いも込められています。